

旭区の宝

イ

タ

セ

ン

パ

ラ



イタセンバラはコイ科のタナゴの仲間で、城北ワンドに生息する魚類初の国の天然記念物です。「淀川のシンボルフィッシュ」とも言われます。秋にイシガイなどの二枚貝に卵を産みます。この時期オスはきれいな紫色になります。生まれた仔魚は貝の中で約7ヶ月を過ごした後、5月頃に泳ぎ出し、4ヶ月程で7～8cmに成長します。

ブラックバスやブルーギルなどの外来種に襲われたり、河川環境の変化で危機に陥ったこともありましたが、今も旭区の城北ワンドでたくましく生きています。みなさん貴重なイタセンバラを大切にしてくださいね！！



「パラッチ」

旭区のイタセンバラ
マスコットキャラクター

イタセンパラの一生



10月頃 産卵期のイタセンパラ
左：メス 右：オス



長い間、貝の
中にいるよ



貝の中に産みこまれた卵
約1週間でふ化します



貝の中の仔魚
約7ヶ月をすごします



5月頃 貝から泳ぎ出ます



成長する稚魚
秋には成魚になります

- | | |
|-------|---------------|
| 1974年 | 国の天然記念物に指定 |
| 1995年 | 国内希少野生動植物種に指定 |
| 2005年 | 城北ワンドで最後の確認 |
| 2013年 | 城北ワンドに放流 |